

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道(074)	(2) 記載者氏名	中村 喜吉	会員番号:	10978	事務局整理記入欄	北海道 - 76
分水嶺区分:	P901～H023元小屋沢山～雄鉾岳肩	(3) 山行日:	2004年 4月 17・18日	(4) 天候	晴後ガス後晴 積雪0～2m		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

中村 喜吉	10978						
漆崎 隆	13040						
計		2名		計		名	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	八雲温泉 オホコ山の家 鉛川山美湖 P901 元小屋沢山 雄鉾岳夏道出合 カケ沢 雄鉾沢 金山沢 八雲温泉												
アプローチ:	札幌 八雲温泉(往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	八雲温泉	春日	140	7	21.9	42	11	17.2	200	6:10			
分水嶺到達点	P901m肩	砂蘭部岳	140	9	33.3	42	8	59.5	899	10:57	B-4	8	
H203	元小屋沢山	"	140	8	43.7	42	8	43.8	970	12:30	B-4	8・10	
分水嶺離別点	雄鉾岳夏道出合	渡島鮎川	140	7	3.0	42	9	5.4	920	14:46	15:00	B-3	8・9
歩行終了点	八雲温泉	春日	140	7	21.9	42	11	17.2	200	18:22			
										総歩行時間(休憩時間を除く):		12時間00分	
										分水嶺距離 4.5km ; その他距離 10.8km			

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コード を記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H203	元小屋沢山		不明	不明	積雪の為不明

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺到達点以北電の送電線あり。(北電、相沼内線第53号 昭和51.1の名札) P934mから元小屋沢山に至る稜線上の一部融雪の進んだ場所に立派な刈り分けが見られた。この稜線上に送電線が走っているため保守点検用のものと思われる。 又、元小屋沢山南西方向150mに二階建の立派な無名小屋があった。付近には送電に必要と思われる機器が置かれていたので、北電の管理する小屋と思われる。(地図に記入なし) P946m相沼線40-2パンザマストにて送電線から外れた。 雄鉾岳夏道は地図に記録なし、沼から稜線(分水嶺)に出る所が雪融けで夏道確認、2m程の鉄棒が地面に刺さっていた。 案内板の残骸か。	
---	--

(9) 水および植生に関連した特記事項

稜線上は樹木はまばらでダケカンバが殆ど、又、全体に積雪があった為低木の確認は難しく、雄鉾岳に近くなると熊笹のヤブ漕ぎが少しあった。雄鉾岳夏道近辺では這い松も見られた。	
---	--

(10) その他の特記事項

アプローチの鉛川が融雪で全て開いていたため下部で時間を食った。分水嶺に辿り着くルンゼの途中からガスが濃くなり(頭上の送電線が見えなくなるくらい)又稜線上は日本海からの吹き込む強風に難儀した。登山中止を決断する直前(元小屋沢山山頂を越えたあたり)ガスが切れたので何とか雄鉾岳の肩までルートを伸ばせた。	
---	--

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	

